

腹部単純X線撮影における肋骨下縁を基準とする腹部中心位置決定法の検討

・はじめに

腹部単純X線撮影とは、腹部の概観を診断するために、左右の横隔膜を含み、横隔膜から足側における半切サイズの腹部概観をX線撮影することです。腹部撮影には半切サイズのフラットパネルディテクタを使用しますが、体の頭尾方向のどの位置にそのフラットパネルディテクタを配置するかを決める必要があります。

今回、私たちは過去の腹部画像と身体情報（身長、体重、年齢）および腹部中心位置を記録したデータを調べ、統計学的に解析し、より良い腹部中心位置の決定法の可能性を探ります。



図1. 腹部単純X線撮影の位置合わせ中の写真

・対象

九州大学病院放射線部において2010年4月1日から2012年11月30日までに、第2および3胸腹部撮影室で腹部単純X線撮影を行った方のうち10,000名の患者さんを対象に致します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

放射線部で腹部撮影をおこなった方の腹部画像の横隔膜位置や肋骨下縁などの位置を調べます。この位置データと患者さんの身体情報や腹部中心位置を記録したデータを比較し、腹部単純X線撮影の位置合わせにおいてこれらがどうかかわっているか、考察します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。



図2. 標準腹部画像

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学病院放射線部においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

なお、研究終了後の研究データについては、九州大学病院放射線部内の外部と接続できないパソコンで永久保管管理いたします。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より 2015 年 3 月 31 日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は腹部単純X線撮影における腹部中心位置決定法の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

九州大学病院医療技術部・部長・大屋信義（責任者）

九州大学病院医療技術部放射線部門・診療放射線技師・馬場 仁

連絡先：〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel：092-642-5791（診療放射線技師室）

担当：馬場 仁